

武州久保村余所領之邑也其邑
 有笠原武津進者精于柔之術從
 而學之信而赴之徒既達五百人
 許以其家号立一流可謂善修鍊
 之善勉勵之者乃應需授一章云
 空手曾無屑劍光古来柔者剛堅
 剛可尋私樹千條柳摧折試看存
 雪霜

享保丁未夏五

從五位下守大學頭林信充自書



武州久保村は、余が所領の村なり。その村に

笠原武津進という者あり。柔の術において精

し、從つてこれを学ぶ。信じてこれを赴く。

徒すでに五百人におよぶ。その家号をもつて一

流を立てるを許し、よくこれを修鍊し、よく

これを勉勵する者というべし。すなわち、も

とめにして、一章を授けらるという。

空手曾無屑劍光、古来柔者剛堅、

剛可尋私樹千條柳、摧折試看存雪霜

享保丁未夏五

從五位下守大學頭林信充自書

國子 祭酒

朝散 大夫